

発明の名称: 新規有機顔料

利用・用途・応用分野

無料開放特許

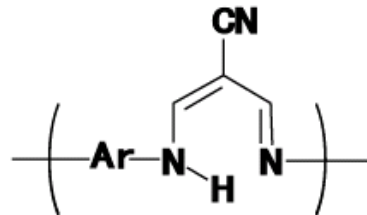
印刷インキ、インキジェット用インキ、ペイント、ラッカー、ゴム、プラスチック、化粧品、紙などの着色剤、合成繊維の原液着色料

目的・課題

有機顔料は、有機色素から成る顔料の総称で、無機顔料に比べ、耐熱性、耐光性、耐溶剤性は劣るが、一般に着色力が大きく、色相が豊富で鮮明、透明性が大きいので需要は増加している。有機顔料の最大の用途は印刷インキで、ペイント、ラッカー、ゴム、プラスチック、化粧品、紙などの着色、合成繊維の原液着色など広い用途がある。在来の有機色素とは化学構造の異なる新規有機顔料を提供することを目的とする。

解決ポイント

本発明の有機顔料は、2 価の芳香族化合物単位と1, 5 - ジアザ-1, 3 - ペンタジエン単位とからなる繰り返し単位で構成されるものである。この有機顔料は、1, 3, 3 - トリアルコキシ-2 - シアノプロペンに芳香族ジアミンを反応させることにより、容易に製造することができる。本発明における高分子化合物の一般式(最小単位)で繰り返し単位を有する新規化合物である。但しArは2価の芳香族基を示す。



研究概要・アピールポイント

7 時間程度の加熱還流により容易に製造でき、加えて、耐溶剤性が極めて優れているので、印刷インキ、インキジェット用インキ、ペイント、ラッカー、ゴム、プラスチック、化粧品、紙などの着色剤、合成繊維の原液着色料、顔料なせんなど広い用途に好適に使用できる。

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp